



火の元には気を付けてと啓発していました

春の火災予防運動（4月20～30日）初日となる20日、栗山消防団女性消防部の団員7人が松風地区の高齢者宅の立入啓発を行いました。ストーブやコンロなど火災の起きやすいところを点検し、火の用心の旗が立てられた鉢花などを手渡して防火を呼びかけました。



火の元には十分気を付けて 女性消防部が高齢者宅を立入啓発

けました。女性消防部の小倉亜樹子団員は「まだまだ寒い日が続きますが、空気が乾燥する時期でもありますが、火の元には十分気を付けてください」と話していました。



①サケ稚魚放流の様子



②参加者全員で記念撮影

春の全町一斉清掃が、4月14日の午前7時から行われました。快晴の空の下、町民の皆さんが力を合わせて、ゴミや枯れ枝を拾い、土埃などの掃除を行いました。数十年以上、毎回欠かさず参加している伝庄幹弘さんは、「自分の住むまちをきれいにするの



町民の力できれいなまちに 春の全町一斉清掃

は、誇りです」と話し、朝陽に輝く道路を見て、うれしそうに目を細めていました。なお、次の全町一斉清掃は秋（10月）に行われる予定です。



自分の住むまちをきれいに



また川に帰ってきてと願い込めて サケ稚魚放流会

サケ稚魚放流会が雨煙別川支流の高橋の沢川で4月6日に行われました。初めに一般社団法人流域生態研究所の妹尾優二所長がサケの遡上や雨煙別川の現状などを説明し、「きれいな川を変えずに守っていくことが大切」と呼びかけました。その後、関係者や親子連れなど約120人

がサケの稚魚約1万匹を放流。お母さんと参加した継立小3年の菊田小愛さんは「卵からサケを育ててかわいかった。また川に帰ってきてほしい」と話していました。

まちの話題では、町内の行事や出来事を紹介しています。広報に掲載できなかった話題は町ホームページに掲載しています。【URL】<http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/>



①子どもたちに迎えられ笑顔で応じる栗山監督



②子ども神輿東風梅ジュニアなどが栗山監督を激励

北海道日本ハムファイターズの札幌ドーム開幕戦を迎える3月29日、就任8年目となる栗山英樹監督を激励する出陣式が栗山天満宮で行われました。神輿会「東風梅」が主催して実施。監督とともに100人を超える関係者が集まり、栗山監督は子ども

もたちに出迎えられ、笑顔でハイタッチ。日本一を祈願しました。その後、みり太鼓や子ども神輿で激励された栗山監督は「皆さんから『頑張ってください』と声をかけられるととても勇気づけられます。応援よろしくお願いします」と力強く決意を語りました。



日本一を願って激励 日ハム栗山監督出陣式



地域おこしの活動を振り返る 協力隊員が町長へ報告

地域おこし協力隊の活動報告会が3月29日、役場会議室で開かれました。新規就農者販売促進事業と大学連携事業を担当した小葉松真里さんは「栗山町は札幌や新千歳空港から近いことから、さまざまな農業の形を描ける場所です」と報告。3年間の活動

と今後の事業計画を発表した高橋毅さんは「一過性のものではなく持続可能な『くりやまファンづくり』をしていきたい」と抱負を語りました。報告を受け佐々木学町長は「町が目指す観光との連携を深め、今後ともお力添え願いたい」と感謝を述べました。



3年間の活動と今後の事業計画を報告した地域おこし協力隊



庁舎を華やかに たかはしダリアが洋ランを寄贈



株式会社たかはしダリアの高橋和則店長が3月25日、コチョウランやデンドロビウムなどの洋ラン10鉢を町に寄贈しました。同店では、平成16年から「栗山洋ラン展」を毎年実施。その収益金の一部で毎年、町に洋ランを寄贈しています。高橋店長は「来庁者が多いこの時期に庁舎

を華やかにしてほしいです」と話し、受け取った佐々木学町長は「きれいな花を毎年ありがとうございます」とお礼を述べました。洋ランは、役場1階窓口などに設置。来庁者の心を和ませています。

消費生活 相談室

天皇陛下の退位に便乗した 商法にご注意！

【国民生活センター事例より】

見知らぬ事業者から「平成から年号が変わる。天皇陛下のアルバムを買わないか」と電話があり、皇室に興味があったので、少し話を聞いてしまった。本来8万円だが、3万8千円で買えると言われた。最終的に断ったのに一方的に自宅にアルバムが配送され、夫が受け取ってしまった。
(70歳代 女性)



【ひとこと助言】

- 天皇陛下の退位に便乗して、アルバム、掛け軸などの購入を電話でもちかけられたとの相談が寄せられています。中には「長時間に渡って勧誘された」「断っているのに執拗に勧誘された」という強引なケースもあり、注意が必要です。
- 話を聞いてしまうと断りにくくなってしまいます。購入する意思がない場合には、早いうちにはっきりと断りましょう。
- 注文や承諾していない商品が届いた場合は、代金を支払わず受け取り拒否しましょう。受け取り拒否しても宅配業者に迷惑がかかることはありません。「誰が注文したか分からない荷物は受け取らない」というルールを家族で作っておくのも一つの方法です。
- お金を払ってしまい、相手の連絡先につながらないと泣き寝入りしている人も少なくありません。
- 困ったときは、南空知消費生活相談室にご連絡ください。

南空知消費生活相談室

毎週 月・木曜日 13:00～16:00 勤労者福祉センター
毎月 第2・4水曜日 13:00～15:00 ☎ 72-3581

オレンジカフェ を開設



認知症は特別な病気ではなく誰にでも起こる可能性があります。認知症になっても安心して住み続けられる「まち」を目指して、栗山町ではオレンジカフェを開催しています。どなたでも参加可能ですので、お気軽にお越しください。

5月は、ガーデンハウスくりやまの渡部百合子看護科長による講話「認知症基礎講座～気持ちの理解でスキルアップ～」を行います。認知症になった方は目に見えるもの、聞こえてくるものを怖く感じたり、分からないことに不安を抱えたりと心が大きく揺れ動いています。そのような認知症の方の気持ちについて分かりやすく説明します。是非、ご参加ください。

【日時】5月15日(水) 13:30～15:00

【場所・問い合わせ】

ガーデンハウスくりやま (朝日4)
☎ 72-2600

ま ち という名の家族

子どもがキラキラ育つまち



【問い合わせ】
町福祉課
福祉・子育てグループ
☎ 73-2222

笑顔いっぱい、出会いの場

子育て支援センター「スキップ」に 遊びに行こう！



子育て支援センターって誰が利用できるの？

0歳から就学前までの乳幼児とその保護者が利用できます。昨年度の利用者数は7,011人で、地域になくはない子育ての拠点となっています。

子育て支援センターって何をするとところなの？

センターには木のおもちゃや絵本、遊具などがいっぱいあり、親子で遊ぶことができます。また、おもちゃ作りやふれあい遊びなど親子で一緒に楽しめるあそびの広場や、月1回の子育て講座の開催、栄養士・保健師による食事や子育ての悩み相談などができる場所でもあります。さらに、プール遊び、クリスマス会など季節のイベントが行われているほか、子育てサークルまめっこの活動拠点にもなっています。

【場 所】

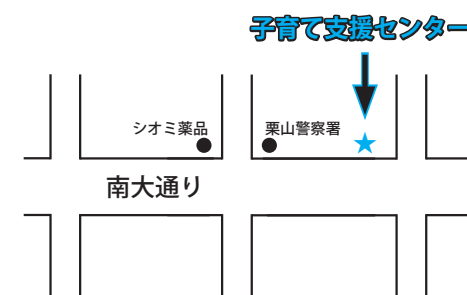
朝日3丁目 (栗山警察署横)

【開設時間】

月～金 8:30～17:00

(子育てサロン 10:00～16:00)

【位 置 図】



センターの先生が不安なことを親身になって聞いてくれたり、娘の気分転換はもちろん、母親の私も楽しい場所です。

スキップ利用者の声



家にはないおもちゃがあり、子どもたちも楽しんでいます。兄弟2人を見きれないときは、保育士さんが遊んでくれて助かります。

左から、西岡彩花さん・
彩良ちゃん (7カ月)
千葉未来さん・
瑛斗くん (2歳)
斗真くん (9カ月)